

令和4年度  
事業計画及び収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

## 目 次

活動方針	.....	1
事業体系	.....	5
事業計画書	.....	9
補助事業等事業一覧表	.....	2 1
収支予算書	.....	2 3
収支予算内訳書	.....	2 7
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	.....	3 1

## 令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成24年(2012)公益財団法人へ移行)され、「丹波の森宣言」(昭和63年9月)に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組むとともに、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)の指定管理者として、丹波の森づくりの拠点施設の運営を担ってきた。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、今後の30年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示し、その実現に向けた取組を始めた。

折しも、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症パンデミックが世界中を席卷、これまでの日常生活のあり方は一変され、未だその終息が見えない。

このような混沌とした状況の中、丹波の森構想推進の原動力となりその礎を築かれた河合雅雄先生が令和3年5月亡くなられた。河合先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等々、当協会の主要事業の展開は河合先生なくしては考えられない。あらためて、丹波の森づくりに傾けられた河合先生の熱意とご功績に敬意を表するとともに、コロナ禍からの脱却に向けた考え方のヒントが、河合先生の教えの中にあるのではないかと考える。先生のご遺志を受け継ぎ、より豊かな丹波の森づくり、人づくりに努めなければならない。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中でのスタートとなったが、ワクチン接種が始まり接種率の高まりや感染対策を徹底し、感染拡大の数度の波をくぐりながら、計画した事業はほぼ実施することができた。

丹波地域は、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共に生きることとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰や二地域居住に広がり移住者の増加につながっている。

丹波の森づくり活動では、令和3年度は、シンポジウム(「丹波の森づくりの新展開に向けて」～次代のもりびとと共に～)を開催し、自治会や自治協議会等に向けた調査報告と方性を示すことができた。

また、地域づくり計画等の策定では、丹波篠山市が未来に向けた集落の維持と活性化を目指す「ワクワク農村未来プラン」を、丹波市は氷上回廊が育んだ生きものなど生物多様性の保全を盛り込んだ「第2次環境基本計画」の見直しを、丹波県民局では2050年を展望した地域の将来像を描き、2030年代初頭に向けた方向性を示す「丹波新地域ビジョン」を策定し、コロナ禍の現状を踏まえ、少子高齢化や地球温暖化が進む中での持続可能な地域づくりについて方向性が示された。

県政では、8月に齋藤元彦兵庫県知事が就任、行財政運営方針の見直しとして公社等のあり方と併せた県立施設の指定管理者選定方法が課題とされ、原則公募方式による競争性の導入が明示された。丹波の森づくりの拠点である県立4施設の指定管理者として、当協会は地域と共に実績を積み上げてきたが、令和6年度以降3施設が対象となる指定管理者の選定では、公募による競争性導入の可能性も見込まれている。次期の選定に向けては、「丹波の森構想」推進における「兵庫丹波の森協会」の存在意義とともに4施設の連携や一体的な管理体制の効果を打ち出すことが必要である。

さらに令和4年度は、県の行財政改革に伴う受託事業の見直しや補助金の削減の他、基本財産を活用した果実運用収入の大幅な減少など、今までにない厳しい収支状況が見込まれる。

こうした中ではあるが、従来からの取組を着実に進め未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進（新規事業「縄文の森ユース躍動プロジェクト」）、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けた新しい生活様式の中で先導して推進し、地域を支援していく。

ウィーンの森親善訪問は、新型コロナウイルスの終息まで当面実施を見合わせるが、ウェブ会議システム等を活用した交流の検討やオオムラサキの飼育支援については、個体の提供が滞り飼育ができない現状の中、搬送方法等の調査検討に取り組む。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を継続して支援することにより、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、リモートワークや移住・二地域居住推進の研究を進め「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」の重要テーマについて、10年後、20年後、30年後の丹波のあるべき姿をわかりやすく示すことが必要である。大学や地域、行政機関と連携し研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

一方、「丹波の森宣言」に基づく「丹波の森構想」については、30年が経過する中で、特に若い世代の認識が低下しているとの県のアンケート結果が出された。このことを深く反省し、あらためて小学生から高校生までを含め、次代を担う若い世代を対象に地域学習や広報を通じて浸透を図ることが大きな課題である。

なお、当協会が指定管理を担っている県立4施設は、丹波の森宣言の実践施設として欠くことのできない機能を有している。次期の指定管理者選定に向けては、令和3年度に検討を進めた4施設連携事業を实践し、人的交流を含む施設間の連携強化を図り、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

(1) 魅力ある地域づくりの推進

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、シンボルの森として里山を楽しめる施設となるよう維持管理を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を行う。また、生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。また、著名な講師を招聘するなど各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。地域で芸術文化活動を展開している丹波文化団体協議会等の活動を支援するほか、丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばのコンサート等の開催により、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進する。

また、丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を実施するとともに、丹波の森公苑の施設全般について老朽化の改修工事を推進する。

- ・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木育キャラバン事業等の木育活動や、木材の普及を進めるため、木材研修会や情報収集広報活動等を行う。

- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

また、市内小中学校の校外学習の場として、各行事の趣旨を生かしたプログラムの開発にも努める。(森のようちえん、自然学校、トライやるウィーク等)

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

- ・「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。

また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。

## 令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

### I 公益目的事業会計

#### 公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

##### (1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森親善訪問事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
- ・ 季節を彩るミニガーデンイベント開催事業
- ・ たんばオープンガーデン交流促進事業
- ・ 丹波の里山づくり発信事業
- ・ 戦略的移住推進モデル事業委託調査業務

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

##### (2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

ア 丹波地域生物多様性保全事業

イ 丹波の森公苑里山事業

ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業

エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

##### (3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

#### 公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学 4 年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

- キ 座つ展 -丹波で坐る木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】



## II 収益事業会計等

### 1 収益事業会計

#### (1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

### 2 その他事業会計

#### (1) 芸術文化団体等活動支援事業

##### ア 芸術文化団体等への活動支援

## III 法人会計

【全施設】

### 1 法人会計

#### (1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。



# 令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

## I 公益目的事業会計

### 公1 森林文化（地域づくり）の創

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第32期は「森の恵み」を学習の基本テーマとし、多様な動植物や美しい風景など、今一度丹波の森の恵みを見直し、保全・活用することで持続可能で魅力あふれる丹波づくりをめざすための学習の機会とする。 講師は大学などで教育、研究に取り組みながら地域づくりの第一線で活躍をされている方を招聘し、講義と現地学習をまじえた講座を展開する。 ・テーマ：「森の恵み」 ・実施時期：5月～令和5年1月 (9回開催) ・場所：丹波の森公苑、丹波篠山市立市民センター ・定員：60人 ・受講料：8,000円（学生は無料）	【予算額】 1,551,000  【前年度予算額】 1,210,000
	イ ウィーンの森親善訪問事業 (協会事務局)	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○オオムラサキへの支援及び情報交換 国営オオムラサキをウィーン・シェンブルン動物園で飼育・繁殖する支援事業を「兵庫丹波オオムラサキの会」の協力を得て、継続して実施する。今年度は、幼虫の提供方法の再検討とオオムラサキが成長するまでの飼育環境について助言と関連する調査研究を行う。 ○交流花壇設置支援事業 丹波の森・ウィーンの森提携20周年記念事業・友好親善提携訪問団メンバーにより設置した「シューベルト花壇」は、来苑者に当協会とウィーン市13区との交流を周知するものであることから、維持管理に係る資材等の支援を行う。	【予算額】 158,000  【前年度予算額】 226,000
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	「丹波の森構想」（人・自然・文化・産業の調和した地域づくり）を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○丹波の森づくりの推進にあたり地域課題解決に向けた調査研究 ①集落再生に資する拠点のあり方の検討 ・拠点が担う諸機能の再整理 ・拠点の階層構造とネットワークの再構築（持続的なコミュニティ形成の推進や地域スケールに応じた拠点創造のあり方への提案） <調査方法> ・場（拠点）と人（移住者、二地域居住者など）の両面から検討する ・果民広場事業の拠点、その他の交流・情報拠点の活用実態の調査 ・移住者、二地域居住者のライフプロセスにおける拠点の役割の把握 ②丹波地域における移住及び二地域居住促進施策の検討 ・昨年度調査を踏まえ、地域と移住及び二地域居住促進のための施策提言を行う。 ・移住及び二地域居住ネットワーク支援仕事づくりサポート ・サポート拠点及び体制づくり ○研究員の情報交換、まちづくり方策の検討、助成事業等の情報など ・研究員及び丹波県民局、丹波篠山市、丹波市のまちづくり担当者との研究交流会の開催（年2回程度） ○丹波の森構想推進連絡調整会議 丹波の森づくりの取組について	【予算額】 6,751,000  【前年度予算額】 7,859,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
エ	地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 (協会事務局)	地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○地域づくり重点地区への支援(アドバイザー派遣) 活性化などの取組みを行っている地域や自治会等の団体の要請を受け、研究員を含むアドバイザーを派遣する。 (3箇所、年3回程度/箇所)	【予算額】 1,033,000 前年度予算額 1,123,000
	・たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業 (協会事務局)	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進支援業務 ・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会調整会議(モバイル・スタンプラリー、オンラインセミナーなど) ・モバイル・スタンプラリーの実施 ・オンラインセミナーの開催(2回)	【予算額】 2,182,000 前年度予算額 2,400,000 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会受託
	・季節を彩るミニガーデンイベント開催事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動をいっそう推進するため、丹波の森公園などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。	○ミニガーデン(コンテナガーデン)の制作・展示 ・展示場所:丹波の森公園、丹波年輪の里、丹波並木道中央公園 ・実施期間:10月頃(予定) ・参加者:地域の住民団体、学校や企業の園芸クラブ等を対象に募集 ・規模:6庭程度	【予算額】 425,000 前年度予算額 1,000,000
	・たんばオープンガーデン交流促進事業 (協会事務局)	個人の庭を広く一般に公開する社会活動として「オープンガーデン」が開催される。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」、そして「交流が始まる」という趣旨に賛同し、協会としても丹波の森公園に庭を作り、オープンガーデンに参加する。この活動により、ガーデニングのスキルアップだけではなく、花と緑のまちづくり、人々の交流、学習、環境美化などの様々な成果が上げられる。	丹波の森公園の庭を活用してオープンガーデンに参加し、花緑愛好家との交流を促進し、地域全体に美しいまちづくりを拡げる。 ・開催日:4月、5月の各1日	【予算額】 32,000 前年度予算額 110,000
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	○丹波の里山づくり発信事業 ・モデルとなる里山を地域住民が自ら30年かけて整備し、その活かし方、楽しみ方を広く情報発信する。 ・モデルとなる里山活動10団体にアドバイザーを派遣し、活動を継続、イベント企画、行政担当部局との連携など、30年の森づくり活動を支援する。	【予算額】 3,119,000 前年度予算額 3,119,000 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託)
	・戦略的移住推進モデル事業委託調査業務 (協会事務局)	この事業は兵庫県の補助事業である「戦略的移住者推進事業」で、丹波篠山市福住地区まちづくり協議会からの依頼により「計画策定・活動支援」について、丹波の森研究所が支援する。	○丹波篠山市福住地区「戦略的移住推進モデル事業」の支援 ・事業の推進及び具体的な展開方策についての検討 ・まちづくり協議会の開催(年6回予定)	【予算額】 900,000 前年度予算額 0 (丹波篠山市福住地区まちづくり協議会受託)
オ	花づくり活動支援事業 (丹波の森公園)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) 内 容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講 師:県立フラワーセンターから派遣 日 程:5月～令和5年3月 (年6回:原則として奇数月に開催) 募集定員:70人 (午前・午後の部とも各35人) 受講料:16,000円(年間)	【予算額】 1,563,000 前年度予算額 1,563,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<p>○花と緑の教室(自主活動グループ) 「花と緑の教室」で知識・技術を習得した者をリーダーに、地域単位で教室を開催 内 容：草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 日 程：5月～令和5年3月 (年6回：原則として奇数月に開催) 募集定員：4グループ・20人程度 受講料：14,600円(年間)</p> <p>○園芸教室(応用創作講座) 内 容：コフレ出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を学ぶ。 講 師：但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 日 程：5・6・7・10・12・3月(年6回) 募集定員：36人 受講料：6,000円</p>	
カ	丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	<p>体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催 ・開催日：10月30日(日) ・内容：ワークショップ、作品展示等</p>	<p>【予算額】 600,000</p> <p>【前年度予算額】 478,000</p>
キ	丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	<p>○工作室における木工クラフトの指導(通年) ・クラフトメニューの充実 ・特別教室の充実</p> <p>○ゴールデンウィークフェスタの開催(5月) ○アトリエ作品展(5月) ○芝生広場を活用するグラウンドゴルフ事業 ○第6回たんば絵てがみ展 一般の部、高校生以下の部</p> <p>○木に関する情報を提供する事業 ・研修会の開催 ・木の普及振興事業 木本市(5月、11月)イベントへの参加 ・木育活動(「木育キャラバン事業」の推進、訪問先の拡大)</p>	<p>【予算額】 2,419,000</p> <p>【前年度予算額】 2,364,000</p>
ク	丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	<p>「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p>	<p>地域の専門家と共に「丹波の森」30年後の将来像づくりを先駆的に取り組むことを目指し、「丹波の森」管理モデルとなる森林管理、「森づくり」のための公園づくり、間伐材利用方策「木づかい」等の実践を行う。特に利用促進事業では、県立都市公園の推進する下記の施策テーマごとに各種事業に取り組む。</p> <p>○活力あふれる地域づくりに資する公園 ・なみきみちまつりの企画実施 ・たんばサイクルステーション ・ギャラリーかやぶき民家 ・こころと身体のヘルシーパーク 他</p> <p>○子育てに資する公園 ・自然あそびの「お道具箱」貸出サービス ・動く恐竜模型 ・大型複合遊具(恐竜遊具)</p> <p>○環境との共生に資する公園 ・幼児の「はじめての自然あそび」シリーズ 他</p> <p>○安全安心な地域づくりに資する公園 ・ユニバーサルデザイン・パークの企画実践</p> <p>○持続可能なパークマネジメントの推進 ・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの設置 ・公園の新たなローカルルール検討・企画</p> <p>○その他 ・森の実験遊び場の設置 ・フォトジェニック・スポットの設置 ・おもいっきり!なみきみちキャンプ ・なみきみちフェノロジーカレンダーの配布 ・間伐材を使った自由工作室「森の工房」</p>	<p>【予算額】 3,314,000</p> <p>【前年度予算額】 3,314,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p>○生物多様性保全に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性を自然保護団体や県・市の会議等において情報を発信し、地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。</li> <li>自然保護団体等が環境学習を行う場合に、生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援していく。</li> </ul> <p>○生物多様性保全の意識向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域での実践活動が行えるよう、市民の意識を高め、市民・行政の取組を広げていく。</li> </ul> <p>○丹波の森里山自然環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫を中心とした調査スタッフの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の植物・昆虫・野生動物を調査することにより、生物多様性の方向性を探ることを目的に、その調査スタッフを養成するため、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始する。</li> </ul> </li> <li>故河合雅雄先生の少年時代のように、網と虫かごを持って森に入り、生態系や食物連鎖を目の当たりにすることにより、自然と生き物が共生しているシステム=生物の多様性を身近に感じ、知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：7月・8月・10月の各1日</li> <li>対象者：子ども(小学3年生以上)と保護者(丹波篠山市・丹波市)</li> </ul> </li> </ul>	<p>【予算額】 148,000</p> <p>【解散予算額】 1,248,000</p>
	イ 丹波の森公苑里山事業 (丹波の森公苑)	<p>丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森づくり講座の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修の実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>日程：6月～12月、6回開催</li> <li>募集定員：5人</li> </ul> </li> <li>併せて、里山整備相談事業を実施し、森づくりの取り組みをフォローする。</li> </ul> </li> <li>里山及び環境学習体験フィールドの整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数25人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数15人程度)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。</li> </ul> </li> <li>○森づくり活動アドバイザーの設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</li> </ul> </li> <li>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>体験飼育展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校等、地域での飼育指導(17小学校等、2高校、15事業所)</li> </ul> </li> <li>第13回放蝶会：7月3日(日)</li> <li>国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施</li> </ul> </li> <li>○里山散策道木の銘板設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>里山整備と自然体験学習の場づくりとして、丹波自然友の会の協力のもと、里山散策道(尾根コース)の樹木に樹種銘板を設置する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査(7月)</li> <li>銘板設置(8月20日)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul>	<p>【予算額】 648,000</p> <p>【解散予算額】 648,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ウ 丹波の森公園環境学習推進事業 (丹波の森公園)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波縄文の森塾の開催 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ（2泊3日）、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察等 期 間：5月～令和5年3月（毎月1回） 募集定員：小学3年～6年生 30人 参加費：6,500円 キャンプ6,500円（別途）</li> </ul> <p>○親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山ふれあいハイキング 日 程：4月29日（金・祝） 募集定員：30人 参加費：300円（小学生以上）</li> <li>・さわってみ丹波いきもの大集合 日 程：7月中旬 会 場：ゆめタウン丹波</li> <li>・国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し 日 程：令和5年3月 募集定員：30人</li> </ul> <p>○リーダー養成プログラム</p> <p>縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> <p>○環境学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の秋の実り体験 期 間：9月～10月 参加者：丹波篠山市及び丹波市内の認定こども園児・小学生及び引率者等</li> <li>・出前講座の実施</li> <li>・公苑における学習支援</li> </ul>	<p>【予算額】 1,082,000</p> <p>【前年度予算額】 1,454,000</p>
		丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんぼ子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生（グリーンリカバリー）と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	<p>縄文の森ユース躍動プロジェクト事業</p> <p>対象者：丹波地域の中・高校生等 実施場所：丹波の森公園、水上高校等</p> <p>○「植物」を知り、森の再生と活用方法を学ぶ</p> <p>①氷上高校隣接地での里山再生（高校の課題研究と共同カリキュラム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放棄田畑や放棄林の再生を学ぶとともに里山植生診断、基盤整備などを行う。</li> </ul> <p>②若者の参画による縄文の森づくりと学習林再生（丹波の森公園内）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林再生のゾーニング、循環的な管理計画の策定などを行う。</li> </ul> <p>○「動物」を知り、野生動物と人との共生方法を学ぶ</p> <p>①丹波地域での野生動物フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性と獣害との関連や獣害対策などの講義や実践のほか、ジビエ料理の体験などを行う。</li> </ul>	<p>【予算額】 2,700,000</p> <p>【前年度予算額】 -</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・ウッドクラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○基本プログラム ・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等 ・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等 ・自然学習班：バードウォッチング、植物観察、ヒメボタルの観察等 ・レクリエーション班：深山登山、源流探検、木登り体験等 ・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り、ベンチ作り等 ○特別プログラム ・里山まつり、里山の日特別企画、里山コンサート、里山落語、講演会等 ○森の学校(第15期生) ○団体プログラム ・団体利用：草木染め、ウッドクラフト等 ・県立篠山東雲高等学校授業支援「里山文化」	【予算額】 5,692,000 [前年度予算額] 5,421,000
(3) 公1 共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 160,212,000 (局) 4,638,000 (発) 15,463,000 (輸) 78,377,000 (給) 20,021,000 (並) 41,683,000 [前年度予算額] 159,879,000



公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む)(丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機材や情報ポスターの提供 ・生活創造活動グループサポート事業による丹波の森公苑内でのイベント等への支援(年12件)	【予算額】 170,000 前年度予算額 180,000
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	・消費生活出前講座の実施(年20回程度) ・消費生活にゅーすの発行(年4回)	
	イ 生活創造活動施設貸し館業務(丹波の森公苑)	新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	[ホール天井耐震改修工事、計画修繕工事ほか(令和4年6月~)] 会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、工事の影響を最小限に抑えつつ、統一的な基準により貸与する。	
	ウ スポーツ大会・文化教室の開催(丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○グラウンドゴルフ大会(4回予定) ○イベント支援 ○特別工作教室の充実 ○アトリエサークル教室の充実と広報 ○緑の中のコンサート(2回予定)	【予算額】 2,568,000 前年度予算額 2,530,000
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期：4月~3月までの18回 ・受講料：12,500円	【予算額】 2,187,000 前年度予算額 2,187,000
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設(丹波の森公苑)		【丹波OB大学大学院】 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・講座内容：教養講座・特別講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期：4月~3月までの18回 ・受講料：12,500円	
	ウ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・タイトル：丹波につながる歴史再発見！ ~悠遠なる丹波史と伝統文化から学ぶ丹波の魅力~ ・日程：8月27日(土)~12月10日(土)の間、全5回 ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員：100人 ・受講料：5,000円	【予算額】 580,000 前年度予算額 680,000
	エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催(丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日程：9月22日(木)~23日(金) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム等(予定) ・内容：作品展等(予定) ・参加者数：500人(丹波地域内の高齢者大学受講生など)	【予算額】 180,000 前年度予算額 180,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入(丹波の森公苑)(丹波年輪の里)(ささやまの森公園)(並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 丹波並木道中央公園 期間：6月6日(月)~10日(金) 受入数：4人 (丹波の森公苑、年輪の里、ささやまの森公園については未定)	【予算額】 10,000 前年度予算額 10,000
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催(丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	【レッスン】 ・日程：7月~10月までの15回 ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・指導：劇団ウエスト ・受講料：6,000円 【発表公演】 ・日程：10月16日(日) 2回公演 ・場所：ライブピアいちじま大ホール(丹波市) ・演目：未定 ・入場料：大人700円、高校生以下無料	【予算額】 1,615,000 前年度予算額 1,615,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援(協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○語りベクラブの支援 語りベクラブ(丹波篠山市1団体、丹波市2団体)が、年間延べ140回にわたり丹波のむかしばなしを語り継ぐ活動を保育所、小学校、その他施設等で行っている。その活動を支援するとともに「むかしばなし」をホームページ等で全国に向けてPRする。	【予算額】 131,000 前年度予算額 91,000
(4) 公2 共通経 費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 171,961,000 前年度予算額 95,478,000

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんばの開催  【丹波の森国際音楽祭 シューベルティアーデたんば実行委員会】	国内外からアーティストを招へいし、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会が開催し、その事務局を(公財)兵庫丹波の森協会が担う。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しみ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の実施等	テーマ：「シューベルト！君こそ我が魂い」 開催期間：9月11日(日)～11月19日(土) ○オープニング・サロンコンサート ・日程：9月11日(日) ・場所：お菓子の里丹波ミオール館(丹波篠山市) ・入場料：未定 ○ガラ・コンサート ・日程：11月19日(土) ・場所：田園交響ホール(丹波篠山市) ・入場料：未定 ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高・特別支援学校4校) ○東日本大震災復興支援(被災地訪問)	【予算額】 1,300,000 (局)400,000 (発)900,000  【前年度予算額】 1,400,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	・日程：令和5年2月25日(土)～26日(日) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・内容：第2回「丹波の森芸術展」 ・入場料：無料	【予算額】 1,320,000  【前年度予算額】 358,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内の自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第31回アートクラフトフェスティバル in たんば2022 ・日程：10月29日(土)～30日(日) ・出展予定者：180名	【予算額】 400,000  【前年度予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに、木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	○第34回丹波の森ウッドクラフト展 ・全国公募：一般の部、ジュニアの部 ・作品展示： 一般の部 9月10日(土)～25日(日) ジュニアの部 10月15日(土)～30日(日) ・場所：丹波年輪の里木の館ホール ・表彰式：10月30日(日)	【予算額】 900,000  【前年度予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催(丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日程： ①令和5年1月25日(水)～29日(日) ②令和5年2月4日(土)～10日(金) (予定) ・場所： ①丹波の森公苑多目的ルームほか ②丹波篠山市立四季の森生涯学習センター(予定)  ○文化賞受賞者小品展 ・日程：10月6日(木)～9日(日) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム	【予算額】 120,000  【前年度予算額】 120,000
	エ 展示ギャラリーの開設(丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	年間25回程度を目途に作品展示を実施	【予算額】 30,000  【前年度予算額】 10,000
	オ 伝統文化活性化支援事業(丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日程：11月17日(日) ・場所：春日文化ホール(丹波市)(予定) ・出演：第12回丹波の森童謡唱歌の祭典の民俗芸能特別鑑賞部門に出演(調整中)  ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・日程：11月～令和5年1月の間(予定) ・場所：丹波管内の小学校10校	【予算額】 200,000  【前年度予算額】 200,000
カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業(丹波の森公苑)	緊急対応型雇用創出事業(県委託事業)	○WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公苑に推進員(1名)を配置して業務を行う。	【予算額】 2,449,000  【前年度予算額】 2,882,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	キ 座っ展-丹波で座る木の椅子 (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。 「坐る・触る」ことにより、作品のすばらしさをアピールする。	「第9回座っ展-丹波で坐る木の椅子」 【作品展示】 期 間：4月29日(金)～5月5日(木) 場 所：丹波年輪の里木の館ホール 出展予定者：15名、約30脚	【予算額】 120,000  【前年度予算額】 120,000
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理に支出する。	【予算額】 35,869,000  【前年度予算額】 32,479,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (協会事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、SNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域がつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・HP等に掲載 ○協会ニュース2022 12月発行予定 関係団体に配布及びHPに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ※丹波並木道中央公園ホームページリニューアル予定 ○フェイスブック、Instagramによる情報発信 ・随時更新 ○丹波ブランド製品のPR	【予算額】 1,685,000 (局) 945,000 (苑) 740,000  【前年度予算額】 606,000
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、丹波地域の住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 377,000 (苑) 170,000 (輪) 35,000 (さ) 50,000 (並) 122,000  【前年度予算額】 412,000

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 飲み物の自販機設置 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売	【予算額】 5,843,000 (苑) 1,422,000 (輪) 4,170,000 (並) 251,000  【前年度実績】 5,831,000

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：28団体 ○日本の童謡・唱歌を広める会 【第12回丹波の森童謡唱歌の祭典】 ・日程：11月17日(日) ・場所：春日文化ホール(丹波市) (予定)	【予算額】 200,000  【前年度実績】 200,000

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人員費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人員費及び維持管理費	【予算額】 12,891,000 (局) 12,258,000 (苑) 200,000 (輪) 164,000 (さ) 117,000 (並) 152,000  【前年度実績】 12,671,000



令和4年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	3,480	事務局
	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業	兵庫県	丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんぼ子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	2,500	事務局
	丹波の森公園事業運営費	兵庫県	・県立丹波の森公園の事業運営業務 ・施設における公演や展覧等の実施に際して、感染防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援を行う。またコロナ禍の「新たな活動」に必要な機材等の環境整備	4,183	森公園
	丹波年輪の里業務運営費	兵庫県	県立丹波年輪の里の事業運営業務を行う。	2,358	年輪の里
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	17,844	ささやまの森公園
県補助金等収入 県負担・分担金収入	経費分担金	丹波県民局	コピー機等共通経費分担金	700	森公園
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	丹波篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局
	丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催	丹波篠山市 丹波市	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学び合い交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	120	森公園
その他補助金等収入 その他負担・分担金収入	分担金	(公財)兵庫県 青少年本部等	コピー機等共通経費分担金	50	森公園
	丹波の森アートフェスティバル	(公財)兵庫県 芸術文化協会	兵庫県芸術文化協会負担金	30	森公園
その他補助金等収入 その他補助金収入	文化施設の感染拡大予防活動支援環境整備事業	文化庁	施設における公演や展覧等の実施に際して、感染防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援を行う。またコロナ禍の「新たな活動」に必要な機材等の環境整備の支援を行う。	500	森公園
	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	280	事務局

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	県立丹波の森公園の管理運営業務を行う。	129,669	森公園
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	77,666	年輪の里
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	6,885	ささやまの森公園
	県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	39,905	並木道中央公園
県受託収入 その他受託収入	丹波の森公園芸術文化配信事業	兵庫県	WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公園に推進員(1名)を配置して業務を行う。	2,449	森公園
	丹波の森公園改修事業 (テニスコート改修)	兵庫県	丹波の森公園テニスコートの人工芝張替、排水路更新等の改修を行う。	84,799	森公園
	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	丹波篠山市	丹波篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	150	並木道中央公園
その他受託収入	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進支援業務	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進支援業務を行う。 ・モバイルスタンプラリーの実施 ・オンラインセミナーの開催	2,182	事務局
	丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	認定したモデル団体10団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。	3,119	事務局
	戦略的移住推進モデル事業委託調査業務	丹波篠山市福住地区まちづくり協議会	丹波篠山市福住地区の「戦略的移住推進モデル事業」の支援を行う。 ・事業の推進及び具体的な展開方策についての検討 ・まちづくり協議会の開催	900	事務局
	ひょうご森づくりサポートセンター事業木育活動実施支援業務	兵庫県木材業協同組合連合会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	460	年輪の里

399,529



# 収支予算書（損益ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000,000	2,020,000	△1,020,000
基本財産受取利息	1,000,000	2,020,000	△1,020,000
特定資産運用益	1,000	1,000	0
森づくり基金受取利息	1,000	1,000	0
受取会費	150,000	150,000	0
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
事業収益	28,018,000	23,087,200	4,930,800
指定事業収益	18,867,000	15,315,200	3,551,800
参加者負担金収益	6,026,000	4,850,200	1,175,800
施設使用料収益	12,841,000	10,465,000	2,376,000
自主事業収益	7,851,000	6,922,000	929,000
参加者負担金収益	3,448,000	2,631,000	817,000
商品売上収益	3,083,000	2,931,000	152,000
手数料収益	1,320,000	1,360,000	△40,000
補助事業活動収益	1,300,000	850,000	450,000
受取補助金等	399,529,000	336,224,000	63,305,000
受取県補助金等	31,065,000	30,362,000	703,000
受取県補助金	30,365,000	29,662,000	703,000
受取県負担・分担金	700,000	700,000	0
受取市補助金等	18,420,000	18,360,000	60,000
受取市負担・分担金	18,420,000	18,360,000	60,000
受取その他補助金等	860,000	839,000	21,000
受取その他補助金	780,000	759,000	21,000
受取その他負担・分担金	80,000	80,000	0
県受託収益	342,373,000	277,944,000	64,429,000
指定管理料収益	254,125,000	269,368,000	△15,243,000
その他受託収益	88,248,000	8,576,000	79,672,000
市受託収益	150,000	150,000	0
その他受託収益	150,000	150,000	0
その他受託収益	6,661,000	8,569,000	△1,908,000
受取寄附金	1,000	65,000	△64,000

# 収支予算書（損益ベース）

No. 2

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
受取森づくり基金寄附金	1,000	65,000	△64,000
雑収益	878,000	1,838,000	△960,000
雑収益	878,000	1,838,000	△960,000
経常収益計	429,577,000	363,385,200	66,191,800
(2) 経常費用			
事業費	422,863,000	358,520,210	64,342,790
報酬	40,486,000	40,527,000	△41,000
非常勤嘱託職員報酬	40,486,000	40,527,000	△41,000
給料手当	89,525,000	87,159,000	2,366,000
給料手当	81,397,000	78,725,000	2,672,000
給料手当支出（会計年度任用職員）	8,128,000	8,434,000	△306,000
給料手当支出（会計年度任用職員）	8,128,000	8,434,000	△306,000
福利厚生費	26,941,000	25,807,000	1,134,000
法定福利費	26,198,000	25,374,400	823,600
その他福利厚生費	743,000	432,600	310,400
賃金	9,681,000	8,309,000	1,372,000
諸謝金	4,347,000	3,555,972	791,028
講師謝金	2,394,000	1,718,150	675,850
その他謝金	1,953,000	1,837,822	115,178
旅費交通費	6,623,000	5,466,928	1,156,072
通勤旅費交通費	4,118,000	3,831,000	287,000
役員・職員旅費交通費	1,063,000	538,161	524,839
講師旅費交通費	680,000	297,156	382,844
その他旅費交通費	762,000	800,611	△38,611
消耗品費	12,490,000	16,077,147	△3,587,147
燃料費	1,346,000	1,947,000	△601,000
会議費	107,000	91,617	15,383
印刷製本費	2,291,000	2,512,767	△221,767
光熱水費	15,386,000	15,229,000	157,000
修繕費	12,598,000	14,594,893	△1,996,893
商品仕入費	1,100,000	720,000	380,000
通信運搬費	2,972,000	2,871,508	100,492
広告料	995,000	490,000	505,000
手数料	3,740,000	3,258,905	481,095
保険料	1,812,000	1,672,375	139,625

# 収支予算書（損益ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
自動車損害保険料	588,000	527,000	61,000
その他保険料	1,224,000	1,145,375	78,625
委託料	52,867,000	56,059,850	△3,192,850
使用料及び賃借料	11,440,000	11,088,048	351,952
会場借上料	1,415,000	1,569,270	△154,270
NHK受信料	114,000	114,000	0
各種リース料	8,316,000	8,067,578	248,422
その他の使用料及び賃借料	1,595,000	1,337,200	257,800
備品購入費	2,150,000	2,696,000	△546,000
受入備品購入費	2,150,000	1,689,000	461,000
負担・分担金及び補助金	3,583,000	3,612,000	△29,000
補助金	650,000	809,000	△159,000
負担・分担金	2,933,000	2,803,000	130,000
租税公課費	13,684,000	14,750,200	△1,066,200
消費税	13,637,000	14,702,000	△1,065,000
印紙税	47,000	48,200	△1,200
工事請負費	106,684,000	40,009,000	66,675,000
雑費	15,000	15,000	0
雑費	15,000	15,000	0
管理費	12,771,000	12,133,000	638,000
報酬	4,890,000	4,923,000	△33,000
役員報酬	4,890,000	4,923,000	△33,000
給料手当	4,779,000	4,179,000	600,000
給料手当	4,779,000	4,179,000	600,000
福利厚生費	1,637,000	2,029,000	△392,000
法定福利費	1,610,000	1,621,000	△11,000
その他福利厚生費	27,000	408,000	△381,000
旅費交通費	74,000	47,000	27,000
役員・職員旅費交通費	74,000	47,000	27,000
消耗品費	79,000	224,000	△145,000
会議費	4,000	14,000	△10,000
通信運搬費	54,000	36,000	18,000
手数料	238,000	85,000	153,000
保険料	84,000	22,000	62,000
自動車損害保険料	0	22,000	△22,000

# 収支予算書（損益ベース）

No. 4

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
その他保険料	84,000	0	84,000
委託料	573,000	313,000	260,000
使用料及び賃借料	88,000	83,000	5,000
会場借上料	40,000	50,000	△10,000
その他の使用料及び賃借料	48,000	33,000	15,000
負担・分担金及び補助金	267,000	168,000	99,000
負担・分担金	267,000	168,000	99,000
租税公課費	1,000	10,000	△9,000
印紙税	1,000	10,000	△9,000
雑費	3,000	0	3,000
雑費	3,000	0	3,000
<b>経常費用計</b>	<b>435,634,000</b>	<b>370,653,210</b>	<b>64,980,790</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△6,057,000</b>	<b>△7,268,010</b>	<b>1,211,010</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,057,000	△7,268,010	1,211,010
一般正味財産期首残高	108,596,299	115,980,909	△7,384,610
一般正味財産期末残高	102,539,299	108,712,899	△6,173,600
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
一般正味財産への振替額	0	△49,000	49,000
一般正味財産への振替額（受取寄附金）	0	△49,000	49,000
当期指定正味財産増減額	0	△49,000	49,000
指定正味財産期首残高	201,851,029	201,900,029	△49,000
指定正味財産期末残高	201,851,029	201,851,029	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>304,390,328</b>	<b>310,563,928</b>	<b>△6,173,600</b>

# 収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分 令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	門部取引等消片	合計
	森林文化（地蔵づくり）の創設	生涯創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益推進)	小計	収益事業	その他事業			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
基本財産受取利息	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
特定資産運用益	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
受取会費	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
賛助会員受取会費	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
賛助会員受取会費	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
事業収益	8,730,000	13,368,000	320,000	170,000	22,608,000	5,210,000	200,000	0	0	28,018,000
指定事業収益	4,168,000	12,643,000	320,000	170,000	17,301,000	1,366,000	200,000	0	0	18,867,000
参加者負担金収益	2,354,000	3,582,000	90,000	0	6,026,000	0	0	0	0	6,026,000
施設使用料収益	1,814,000	9,061,000	230,000	170,000	11,275,000	1,366,000	200,000	0	0	12,841,000
自主事業収益	3,937,000	70,000	0	0	4,007,000	3,844,000	0	0	0	7,851,000
参加者負担金収益	3,436,000	0	0	0	3,436,000	12,000	0	0	0	3,448,000
商品売上収益	501,000	70,000	0	0	571,000	2,512,000	0	0	0	3,083,000
手数料収益	0	0	0	0	0	1,320,000	0	0	0	1,320,000
補助事業活動収益	625,000	675,000	0	0	1,300,000	0	0	0	0	1,300,000
受取補助金等	176,934,000	165,365,000	42,388,000	1,595,000	386,282,000	356,000	0	12,891,000	0	399,529,000
受取県補助金等	24,689,000	3,175,000	2,390,000	596,000	31,950,000	0	0	15,000	0	31,065,000
受取県補助金	24,889,000	2,475,000	2,390,000	596,000	30,350,000	0	0	15,000	0	30,365,000
受取県負担・分相金	0	700,000	0	0	700,000	0	0	0	0	700,000
受取市補助金等	5,705,000	120,000	200,000	137,000	6,162,000	0	0	12,258,000	0	18,420,000
受取市負担・分相金	5,705,000	120,000	200,000	137,000	6,162,000	0	0	12,258,000	0	18,420,000
受取その他補助金等	290,000	50,000	530,000	0	860,000	0	0	0	0	860,000
受取その他補助金	290,000	0	500,000	0	780,000	0	0	0	0	780,000
受取その他負担・分相金	0	50,000	30,000	0	80,000	0	0	0	0	80,000
県受取収益	139,249,000	162,020,000	39,268,000	862,000	341,399,000	356,000	0	618,000	0	342,373,000
指定管理料収益	138,249,000	77,221,000	36,819,000	862,000	253,151,000	356,000	0	618,000	0	254,125,000
その他受取収益	1,000,000	84,799,000	2,449,000	0	88,248,000	0	0	0	0	88,248,000
市受取収益	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
その他受取収益	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000
その他受取収益	6,661,000	0	0	0	6,661,000	0	0	0	0	6,661,000
受取者附金	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
受取者づくり基金寄附金	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
雑収益	1,951,000	650,000	0	0	2,601,000	277,000	0	0	0	2,878,000
雑収益	101,000	500,000	0	0	601,000	277,000	0	0	0	878,000
内部取引収益	1,850,000	150,000	0	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
経常収益計	188,767,000	179,403,000	42,708,000	1,766,000	412,643,000	5,843,000	200,000	12,891,000	0	429,577,000

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人合計	内訳取引簿記法	合計
	業務文化の振興	(公益共通)	小計	収益事業	その他事業	小計				
(2) 経常費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費	194,497,000	179,403,000	42,708,000	2,062,000	418,670,000	5,843,000	200,000	6,043,000	△1,850,000	422,863,000
報酬	34,660,000	5,709,000	0	0	40,369,000	117,000	0	117,000	0	40,486,000
給料手当	46,854,000	10,705,000	31,748,000	0	89,307,000	218,000	0	218,000	0	89,525,000
賞金	9,681,000	0	0	0	9,681,000	0	0	0	0	9,681,000
諸謝金	2,488,000	1,481,000	186,000	192,000	4,347,000	0	0	0	0	4,347,000
旅費交通費	5,150,000	910,000	359,000	115,000	6,534,000	9,000	80,000	89,000	0	6,623,000
消耗品費	8,498,000	2,228,000	277,000	47,000	11,050,000	1,321,000	119,000	1,440,000	0	12,490,000
燃料費	811,000	527,000	0	0	1,338,000	8,000	0	8,000	0	1,346,000
会議費	44,000	44,000	14,000	5,000	107,000	0	0	0	0	107,000
印刷製本費	1,570,000	532,000	189,000	0	2,291,000	0	0	0	0	2,291,000
光熱水費	6,995,000	8,039,000	0	0	15,034,000	352,000	0	352,000	0	15,386,000
修繕費	3,822,000	7,233,000	0	0	11,055,000	1,543,000	0	1,543,000	0	12,598,000
商品仕入費	0	0	0	0	0	1,100,000	0	1,100,000	0	1,100,000
通信運搬費	1,833,000	1,074,000	28,000	10,000	2,945,000	27,000	0	27,000	0	2,972,000
広告料	629,000	160,000	120,000	36,000	945,000	50,000	0	50,000	0	995,000
手数料	2,090,000	847,000	11,000	750,000	3,698,000	41,000	1,000	42,000	0	3,740,000
保険料	1,030,000	772,000	0	0	1,802,000	10,000	0	10,000	0	1,812,000
委託料	32,143,000	19,603,000	0	740,000	52,486,000	381,000	0	381,000	0	52,867,000
使用料及び賃借料	5,223,000	5,818,000	117,000	167,000	11,325,000	115,000	0	115,000	0	11,440,000
備品購入費	300,000	980,000	850,000	0	2,130,000	20,000	0	20,000	0	2,150,000
負担・分担金及び補助金	1,043,000	40,000	2,500,000	0	3,583,000	0	0	0	0	3,583,000
租税公課費	7,163,000	6,096,000	0	0	13,259,000	425,000	0	425,000	0	13,684,000
工事請負費	5,000,000	101,684,000	0	0	106,684,000	13,000	0	13,000	0	106,684,000
雑費	1,552,000	300,000	0	0	1,852,000	0	0	0	0	1,852,000
管理費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	0	0	30,000
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	30,000	0	0	0	30,000	0	0	0	0	30,000
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	194,827,000	179,403,000	42,708,000	2,062,000	418,700,000	5,843,000	200,000	6,043,000	△2,000,000	435,634,000
当期計上増減額	△5,760,000	0	0	△297,000	△6,057,000	0	0	0	0	△6,057,000

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			正人合計	内閣府申請用子	合計
	森林文化(樹木づく り)の創造	生活制活動助の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	小計	収益事業	その他事業			
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△5,760,000	0	0	△297,000	△6,057,000	0	0	0	0	△6,057,000
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	106,009,992	-	-	△5,660,309	0	108,596,299
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	99,952,992	-	-	△5,660,309	0	102,539,299
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	201,851,029	-	-	0	0	201,851,029
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	201,851,029	-	-	0	0	201,851,029
正味財産期末残高	-	-	-	-	301,804,021	-	-	△5,660,309	0	304,390,328





# 収支予算書（資金ベース）

No. 1

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	1,000,000	2,020,000	△1,020,000	
② 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	1,000	1,000	0	
③ 会費収入				
賛助会員会費収入				
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
④ 事業収入				
指定事業収入				
参加者負担金収入	6,026,000	4,850,200	1,175,800	
施設使用料収入	12,841,000	10,465,000	2,376,000	
自主事業収入				
参加者負担金収入	3,448,000	2,631,000	817,000	
商品売上収入	3,083,000	2,931,000	152,000	
手数料収入	1,320,000	1,360,000	△40,000	
補助事業活動収入	1,300,000	850,000	450,000	
⑤ 補助金等収入				
県補助金等収入				
県補助金収入	30,365,000	29,662,000	703,000	
県負担・分担金収入	700,000	700,000	0	
市補助金等収入				
市負担・分担金収入	18,420,000	18,360,000	60,000	
その他補助金等収入				
その他補助金収入	780,000	759,000	21,000	
その他負担・分担金収入	80,000	80,000	0	
県受託収入				
指定管理料収入	254,125,000	269,368,000	△15,243,000	
その他受託収入	88,248,000	8,576,000	79,672,000	
市受託収入				
その他受託収入	150,000	150,000	0	
その他受託収入	6,661,000	8,569,000	△1,908,000	
⑥ 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	1,000	16,000	△15,000	

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 2

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
⑦ 雑収入				
雑収入	878,000	1,838,000	△960,000	
事業活動収入計	429,577,000	363,336,200	66,240,800	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
報酬支出				
非常勤嘱託職員報酬	40,486,000	40,527,000	△41,000	
給料手当支出				
給料手当支出	81,397,000	78,725,000	2,672,000	
給料手当支出 (会計年度任用職員)				
給料手当支出 (会計年度任用職員)	8,128,000	8,434,000	△306,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	26,198,000	25,374,400	823,600	
その他福利厚生費支出	743,000	430,600	312,400	
貸金支出	9,681,000	8,081,000	1,600,000	
諸謝金支出				
講師謝金支出	2,394,000	1,718,150	675,850	
その他謝金支出	1,953,000	1,837,822	115,178	
旅費交通費支出				
通勤旅費交通費支出	4,118,000	3,831,000	287,000	
役員・職員旅費交通費支出	1,063,000	540,161	522,839	
講師旅費交通費支出	680,000	297,156	382,844	
その他旅費交通費支出	762,000	800,611	△38,611	
消耗品費支出	12,490,000	16,056,147	△3,566,147	
燃料費支出	1,346,000	1,947,000	△601,000	
会議費支出	107,000	91,617	15,383	
印刷製本費支出	2,291,000	2,512,767	△221,767	
光熱水費支出	15,386,000	15,229,000	157,000	
修繕費支出	12,598,000	14,509,893	△1,911,893	
商品仕入費支出	1,100,000	720,000	380,000	
通信運搬費支出	2,972,000	2,868,508	103,492	
広告料支出	995,000	490,000	505,000	
手数料支出	3,740,000	3,588,905	151,095	
保険料支出				
自動車損害保険料支出	588,000	527,000	61,000	

# 収支予算書（資金ベース）

No. 3

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他保険料支出	1,224,000	1,211,375	12,625	
委託料支出	52,867,000	55,859,850	△2,992,850	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	1,415,000	1,569,270	△154,270	
NHK受信料支出	114,000	114,000	0	
各種リース料支出	8,316,000	8,067,578	248,422	
その他の使用料及び賃借料支出	1,595,000	1,367,200	227,800	
備品購入費支出				
受入備品購入費支出	2,150,000	1,567,000	583,000	
その他備品購入費支出	0	1,007,000	△1,007,000	
負担・分担金及び補助金支出				
補助金支出	650,000	809,000	△159,000	
負担・分担金支出	2,933,000	3,003,000	△70,000	
租税公課費支出				
消費税支出	13,637,000	14,688,000	△1,051,000	
印紙税支出	47,000	62,200	△15,200	
工事請負費支出	106,684,000	40,009,000	66,675,000	
雑支出				
雑支出	15,000	48,000	△33,000	
内部取引支出	△350,000	0	△350,000	
② 管理費支出				
報酬支出				
役員報酬支出	4,890,000	4,923,000	△33,000	
給料手当支出				
給料手当支出	4,779,000	4,179,000	600,000	
福利厚生費支出				
法定福利費支出	1,610,000	1,621,000	△11,000	
その他福利厚生費支出	27,000	408,000	△381,000	
旅費交通費支出				
役員・職員旅費交通費支出	74,000	35,000	39,000	
消耗品費支出	79,000	224,000	△145,000	
会議費支出	4,000	15,000	△11,000	
通信運搬費支出	54,000	36,000	18,000	
手数料支出	238,000	95,000	143,000	
保険料支出				

# 収支予算書 (資金ベース)

No. 4

会計区分 全体

事業区分 -

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
自動車損害保険料支出	0	22,000	△22,000	
その他保険料支出	84,000	0	84,000	
委託料支出	573,000	313,000	260,000	
使用料及び賃借料支出				
会場借上料支出	40,000	51,000	△11,000	
その他の使用料及び賃借料支出	48,000	33,000	15,000	
負担・分担金及び補助金支出				
負担・分担金支出	267,000	168,000	99,000	
租税公課費支出				
印紙税支出	1,000	10,000	△9,000	
雑支出				
雑支出	3,000	0	3,000	
事業活動支出計	435,284,000	370,653,210	64,630,790	
事業活動収支差額	△5,707,000	△7,317,010	1,610,010	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 基金取崩収入				
期間基金取崩収入	0	49,000	△49,000	
投資活動収入計	0	49,000	△49,000	
2 投資活動支出				
① 基金取得支出				
一般募金積立金支出	2,000	17,000	△15,000	
投資活動支出計	2,000	17,000	△15,000	
投資活動収支差額	△2,000	32,000	△34,000	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△5,709,000	△7,285,010	1,576,010	
前期繰越収支差額	25,782,942	33,067,952	△7,285,010	
次期繰越収支差額	20,073,942	25,782,942	△5,709,000	